

平成28年度

清水町議会報告会と町民との意見交換会

報 告 書



平成28年10月

清水町議会

1 開催状況

地区	日時	会場	参加者	出席議員	出席事務局
清水地区	平成28年5月23日(月) 19:00~20:47	文化センター 2階会議室	11人	担当7人 傍聴5人	3人
御影地区	平成28年5月24日(火) 19:00~20:17	御影公民館 2階講義室	6人	担当8人 傍聴5人	3人
計			17人		

2 質疑、意見・提言等、アンケートの状況

地区	質疑、意見・提言等件数	アンケート回収 ＜意見・要望件数＞
清水地区	21件	9枚＜2件＞
御影地区	15件	6枚＜1件＞
計	36件	15枚＜3件＞

3 質疑、意見・提言等、アンケートの意見・要望の処理方法（類似した内容は一項目として処理）

会場で回答済み とした項目	委員会で調査、検討が必要とした項目			回答でき ない内容	未回答
	議会運営	総務文教	産業厚生		
13項目 【4のとおり】	7項目 【5(1)のとおり】	5項目 【5(2)のとおり】	9項目 【5(3)のとおり】	0項目	1項目

4 会場で回答済みとした項目

No.	質疑、意見・提言等	回答
1	なぜ町の税金から清水赤十字病院へ運営資金の助成があるのか。	地域に必要な一次医療病院であるため、赤字補填として助成を行った。医師が定着せず患者離れがあるが、病院としても鋭意努力することである。
2	清水赤十字病院への助成金を平成26年度以降支出し、本年度も4,700万円の予算を組んでいる。このようなことをいつまで続けるのか。	病院からも現状の説明をしていただいた。この自治体病院も運営に苦勞しており、数年は助成していくとの提案で、それに添って審議した。
3	御影診療所リハビリ棟増設に約5,200万円の予算を組んでいるが、清水町にはシニアハウスのような施設がない。38%の高齢化率の町で、リハビリ施設を優先するべきなのか。	<ul style="list-style-type: none"> 産業厚生常任委員会としてシニアハウスのような施設は必要だと提言している。 御影診療所に通院する人が増えたことにより施設が対応できないため、増設するとして予算が可決された。

4	四季塾では、終了後も成果を生かそうと、未来に向けて自発的な事業を始めようとしている。	皆さんが一生懸命勉強されており、応援していきたい。今後の活動にも全議員が期待しており、提案していただければと思う。
5	ペケレベツ川の水の色について、調査では安全ということだが、本当に水をきれいにする方法はないのか。	工場は法の基準に添って定期的に検査を行い、基準を満たしている。水の色を解消するには、費用的に高額で取り組めない現状にある。
6	日本ハムファイターズの応援大使は、町の活性化、青少年育成に非常に大切だと思うが、議員の中には活性化につながっていないとの認識があるように思われる。本日出席している議員の見解を求める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化の時代、子どもたちにとっては大きなチャンスとして大切にしたい。 ・ 野球は青少年にとって夢のあるスポーツだと思う。観戦するのは大変だが、気持の中では応援している。 ・ 青少年育成に取り組んでおり、是非頑張ってもらいたい。陰ながら応援している。 ・ 青少年の育成、地域おこし、地域事業に対して、議員としてどうあるべきかを考え、公平に判断できるように、町の補助金がある団体には入らないようにしている。色々な事業や活性化に対して、応援していないわけではない。 ・ 野球人口が少なくなっているが、プロの選手が子どもたちの近くに来ることは貴重な経験であり、素晴らしいと思う。危惧するのは来年以降で、どのように続けていくのか一緒に考えたい。 ・ 応援大使は素晴らしい事業であり、その効果はあると思うが、応援大使がいる自治体と連携があれば、より活性化になるのではないかと。清水町の製品の売り上げにつながるように、力を貸してもらえればいい。 ・ 賛成する。
7	プールの建設については、学校プールなのか。	学校プールとあるが、今までと同じように使用できる。
8	1年間の議会報告は分かるが、反対意見の争点、課題はあるのか。	昨年は地方創生・人口減少問題があった。決算では、スポーツツーリズム事業で反対意見が出され、議会としても審議に苦慮した経緯がある。
9	意見書・請願について、今はTPPなどの大きな問題が多いが、清水町の考え、議会の考えをもっと出してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見書は町内の意見を取り入れているが、内容を十分精査して取り組んでいきたい。 ・ 請願者の意図がどこにあるのかを審議し、採択になれば議会として意見書を作成し提出している。

10	TPPの問題等は協議しているのか。	TPP等の農業問題については、一般質問などの議会活動で取り組んでいる。また、産業厚生常任委員会でも農協役員と意見交換しており、これからは前向きに話ができるようになると思っている。
11	議会基本条例の中身を教えてほしい。	栗山町から始まり、議員と町民との意見交換の機会をつくるなど、議会改革を進める中で、議会のあり方を決めている条例。
12	まちづくり計画も後半に入り、何をキーワードにして遂行していくのか。また、議会としての取り組み状況は。	執行側がこれからどうするのかは分からないが、議会として、これから何を優先させるのかは委員会の中で協議し、所管事務調査などを通して提言していく。
13	今回の選挙で新しい議員、若手も増えて期待している。議員の問題として報酬の関係があるが、若い人に頑張ってもらい、あるいは女性も含めて、議員を目指す人のために報酬で生活できるように検討してほしい。	十勝町村議会議長会でも本年度から取り組むことになっている。議会としては、6月に特別委員会を設置し、報酬等も協議していく。

5 委員会で調査、検討が必要とした項目

(1) 議会に対するもの（議会運営委員会で調査、検討）

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	議会報告は簡潔に要約ということだが、ここで資料を出されても、短い時間では何を質問していいかわからない。	一昨年、議会報告はポイントを絞ってとの意見があったため、昨年からは要約して説明しており、今後も分かりやすい議会報告になるように努めていく。
2	議会報告会は、なぜ2つに分担してやるのか。13人全員そろって町民の意見を聞くことはできないのか。	議員個人の考えを聞きたいとの意見が多かったため、時間的に制約がある中、出席議員全員が考えを述べやすいように、一会場に出席する議員を少なくする手法として2班体制にした。
3	議員の一般質問が偏っていないか。質問が少なく個性が出ておらず、町長から何を引き出したのか見えない。	昨年の議会議員選挙後、一般質問者は増えている。一般質問は執行側に疑問点をただし、所信の表明を求めるもので、言い争うことが目的ではなく、各議員がそれぞれの立場で議員活動する中で質問を行っている。
4	12月に清水中学校3年生が傍聴に来た。中学校を卒業して3年後に選挙権を得るので、議会と教育委員会で連携して、色々な方策を教育の中で実践できるように期待している。	中学生などに議会や選挙について、一層関心を持っていただくために教育委員会とも連携していきたい。

5	議会報告会については、昨年、ある程度テーマを持ってという話があった。テーマを絞った方が質問しやすく関心も高まるので検討してほしい。	昨年、テーマを持って意見交換することも必要との意見があり、議会運営委員会で協議を行った。今後もテーマの必要性については協議していく。
6	もう少し、フランクに話しができる会を望む。	参加者が話しやすく、意見交換しやすい場となるように心がけていく。
7	ホームページでの委員会・全員協議会会議録の公開、議会報告会資料の掲載への速やかな対応は評価する。議会が何をやっているのか、定期的に住民に説明する機会は重要で、一層の取り組み強化を期待している。	現状に満足することなく、更に町民の皆さんが分かりやすいと感じるように議会運営の状況を伝えていく。

(2) 町政に対するもの① (総務文教常任委員会で調査、検討)

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	<ul style="list-style-type: none"> ・旧羽帯小学校の水は、ともに園が使っているので問題ない。トタンが剥がれて危険というのなら、街の中でもあちこちにある。なぜ今すぐ危険だからと壊されるのか分からない。 ・以前、校舎を使いたいという人がいた。町の施設はいきなり解体するのではなく、借りたい人がいるのかどうか、公示期間を設ける必要があるのではないか。 	公共施設の解体等については、地域を含めた町民への説明責任を果たし、再利用の可能性を含め、透明度を高めた処理に努めるよう執行側へ伝える。
2	総務文教常任委員会で本州への研修を実施したが、報告がなかったので教えてほしい。また、学力が向上していることに甘んじることなく前進してほしい。既存の計画も見直す時期がきているのではないか。	学校現場における教育活動の状況について、秋田県五城目町、神奈川県川崎市、千葉県南房総市の視察調査を行ったが、第2回定例会の初日である6月14日に所管事務調査報告を行っている。
3	昔は図書館の予算が1,500万円あったが、現在の予算は。	平成28年度予算の図書館資料購入費は250万円である。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館は立派な施設であり、利用者を増やすように努力してほしい。提案として、福祉館等に日割りで行き、本を身近にして利用を増やしてはどうか。 ・図書館を利用して、活用することを考えていただきたい。 	本町の図書館は十勝管内でも上位の蔵書数であり、図書館利用の一層の拡大を目指して取り組むよう執行側へ伝える。
5	まちづくり計画の進捗状況について、町民にも分かるように教えてほしい。また、5年後には第6次計画も策定されるため、その準備として心して頑張してほしい。	まちづくり計画そのものの進捗状況は示されていないが、町民の皆さんが分かりやすいように、議会としてどのようにチェックしていくのか研究していきたい。

(3) 町政に対するもの② (産業厚生常任委員会で調査、検討)

No.	質疑、意見・提言等	調査、検討結果
1	除雪費は毎年 5,500 万円の予算を組み、補正予算で追加して 1 億円くらいになっている。最初から 1 億円の予算を組んで、歩道などもきれいにしてはどうか。	除雪作業は基準により行い、予算に不足が生じれば補正予算で対応している。歩道の除雪は町直営で小型除雪車 1 台を使用して緊急時等に対応しており、住民生活に支障のないよう最大限努力している。
2	廃屋解体撤去助成金の利用件数は分かるか。町の担当係で相談したところ、業者が申請書を作ってくれれば指導され、見積書ももらい申請したが、役場から業者に補助金は出ないと連絡があった。借家は助成対象ではないなら、なぜ最初の段階で説明してくれないのか。	廃屋解体撤去事業補助金は平成 27 年度 8 件交付されている。担当課に確認したところ、最初の相談の際に借家と気付かず、説明不足があったことを本人へ謝罪したとのことで、広報紙などで借家は対象外であることを周知することになっている。
3	旧清見公園 (ペケレの森) に木道が敷設されているが、崩落しそうでけがをする状況。本年、立入禁止の看板が立てられたが、北海道の管轄で、単独では対処できないと放置されている。昨年、北海道には何回交渉したのか。	ペケレの森の木道は北海道の所有であり、昨年は 1 回協議を行ったが、財政状況等により撤去は難しいとの回答であった。
4	議会だよりに旧羽帯小学校解体の見出しがあり、「老朽化が進み修繕に費用がかかる、放置しては建物が強風で飛散して危険」とあった。これとペケレの森とどう違うのか。	危険性は担当課で現地を確認するが、ペケレの森は清水公園と合わせて、観光振興面で計画を検討している段階であり、議会としても推移を見守りたい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズム事業は、町民にとって成果が見えない。2 年間で約 800 万円を支出して、成果があったのか。 ・他施設の借受申請の際、計画書は 10 年のものを提出と言われた。一方、2 年で簡単に助成事業をやめることを議会が通しているのか。 	根幹となるサッカー場用地の目途が立たなかったが、バレーボール大会、サッカー教室、講演会等の事業を実施して交流人口の拡大に寄与したとの報告があり、また、補助金交付は当初から 2・3 年との説明であった。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・農業問題のクラスターは、清水町としてどこまでやろうとしているのか。 ・芽室町は GPS を使ったトラクター作業をやっている。農業人口が減っていく中、もっと取り組んだほうがいいのか。 	畜産クラスター事業は本町でも協議会を組織して対応しているが、生産者の要望に添うように協議会で精査して進めてほしい旨、執行側へ伝える。
7	清和団地の建替工事対象外の住宅の屋根が、40 年以上経っても塗料の塗り替えがない。また、現在の団地に入っている人は、新しいところに入れられないのか。	清和団地の建替対象外の住宅については、屋根と壁の塗装工事を本年度 4 棟、来年度 6 棟実施する予定である。新しい住宅への転居は、家族構成や身体障害など、転居が必要な事由があれば可能である。

8	排雪場が中学校の裏に変わった。大型車が入ると、わだちになって一般車両が入りづらい。毎年、砂利入れがなければ下りられない。	排雪場の通路は絶えず状況を確認し、砂利を敷くなどの対応を行っており、今後もその都度対応していく。
9	合同納骨堂の問題はどうなっているのか。納骨堂の行方は。	進捗状況としては、8月に町内のお寺の代表が集まるため、町の考えを伝えての意見交換を申し込んでおり、また、既存の施設を再確認して進める予定になっている。

6 アンケート集計結果

1. あなたの性別と年齢を教えてください。

性別 男性：15人、女性：0人

年齢 20歳代：1人、30歳代：1人、40歳代：1人、50歳代：2人、
60歳代：4人、70歳以上：6人

2. 「議会報告会と町民との意見交換会」の開催をどのように知りましたか。

議会だより：7人、お知らせ版：6人、新聞折込みチラシ：6人、
ホームページ：3人、その他：4人（複数回答）

3. 「議会報告」の内容はどうでしたか。

分かりやすかった：4人、どちらともいえない：7人、分かりにくかった：2人、
無回答：2人

4. 「議会報告」の時間はどうでしたか。

長かった：1人、ちょうどよかった：10人、短かった：2人、無回答：2人

5. 「意見・提言等の聴取」の時間はどうでしたか。

長かった：3人、ちょうどよかった：9人、短かった：1人、無回答：2人

6. 「議会報告会と町民との意見交換会」を評価しますか。

評価する：8人、どちらともいえない：7人、評価しない：0人、無回答：0人

7. 「議会だより」を読んだことはありますか。

よく読んでいる：12人、関心のあるものだけ読んでいる：1人、
読んでいない：2人、無回答：0人

8. 清水町議会のホームページをご覧になったことはありますか。

よく見ている：2人、時々見ている：6人、
インターネットを利用しているが見たことはない：2人、

インターネットを利用していないので見たことはない3人、無回答2人

9. 清水町議会の本会議や委員会を傍聴したことはありますか。

よく傍聴している：3人、時々傍聴している：4人、傍聴したことはない：6人、無回答：2人

10. 清水町議会議員に期待することは何ですか。

町政の監視機能：6人、具体的な政策の提言：8人、町民との対話：8人、議会情報の発信：5人、その他：0人（複数回答）

7 昨年の意見・提言等で執行側へ対応を求めた項目の検証結果

H27年 意見・提言等	H27年 調査、検討結果	H28年 検証結果
JR十勝清水駅のプラットホームに椅子の設置をお願いしている。また、跨線橋の壁にポスターがあると賑やかになるのではないか。	JR十勝清水駅に確認したところ、椅子の設置は高齢利用者から要望があるため内部協議を行っており、ポスターの掲示は管理面を考慮して掲示していないとのことだった。椅子の設置実現に向けて、JR十勝清水駅と協議を行ってほしい旨、執行側へ伝える。	JR十勝清水駅プラットホームへの椅子の設置は、駅が建設業協会から寄付を受け、平成28年7月に設置されている。
アイスアリーナの芝生の上でバーベキューをやり、芝に焼けた跡があった。	芝生の上でのバーベキューは禁止されていないが、モラルを守って利用するよう指導してほしい旨、執行側へ伝える。	申し入れのとおり、利用者にモラルを持って使用するよう伝えている。
・道路用地の草を刈ると言っていたが、私有地と道路用地との間の草刈りはしないのか。 ・業者は機械で刈っているが、中途半端に頼むのであれば、刈らないほうがいい。	道路用地のごみステーション及び電柱と支線の間のこと、町で草刈りを行い今後も対応していくとのことだが、話があったから行うのではなく、町内をしっかりと点検のうえ道路の草刈りを実施するよう執行側へ伝える。	申し入れのとおり事前に点検を行い、道路の草刈りを実施している。

